

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ えがお かがやき がんばる 学校 困うえんだん「チーム北川」～

本番の成功を目指して! ～「集中力」が決め手です!～



各学年の子どもたちは、運動会本番の成功目指して、練習に汗を流しています。まだまだ未完成ですが、少しずつ形になってきました。

そして、運動会を盛り上げる紅白応援団12名の子どもたちも、休み時間を利用して応援の仕方を一生懸命に考えています。自分たちが応援をリードするため、担当の先生たちのアドバイスを受け、応援の動きを考え、そして自ら演じ、よりよい応援

を目指してがんばっています。応援団12名の子どもたちのリードで、運動会をしっかりと盛り上げてくれるはずです。

連休があったために、実際に練習できるのはあと1週間ほどです。この1週間で、どの程度仕上げるができるのか、楽しみです。子どもたちや先生たちは、本番の成功目指して気合いが入っています。限られた時間の中で、計画的に練習し、イメージ通りに演技するためには、練習にかける子どもたちの本気さ、真剣さ、集中力が欠かせません。そして、集団演技の難しさは自分だけががんばればよいというものではありません。みんなが同じように素晴らしい演技をしようと努力し、心を一つにして取り組むことが大切です。

運動会は、集団の力の見せどころです。そのためには、常に考えながら演技し、演技してまた考え修正する、といった繰り返しが必要になります。中身の濃い練習ができるかどうかにかかっています。勉強も、運動も、量も大事ですが、一番大事なものは「質」を高めることです。このことは、何事にも当てはまります。運動会練習を通して、質の高い練習の仕方をぜひ身に付けてほしいと願っています。



【教育コラム②】 ～「叱る」ことの大切さ～

子どもたちのよりよい成長を促すためには、「叱る」ことも重要です。よくないことをしたら叱られることは子どもたち自身も分かっています。ただ、大人もそうですが、自分が悪いことをしていることに気づかないときもあります。ときには、悪いと分かっているとしてもしてしまうこともあります。

そうしたときに的確に叱ってくれる存在は、子どもたちの成長にとって欠かせません。ただし、叱られる本人がなぜ叱られるのかを理解し、反省し、自らの言動を改めようとしなければあまり効果はありませんね。そのためには、まずは次の三つの点を「叱る」際の基本としたいものです。

◇成長を促すために叱る ◇人間性を否定しないように叱る ◇一貫性をもって叱る
そして、それを支えるのは両者（叱る側、叱られる側）の信頼関係です。

